

# し せ き む さ し こ く ぶ ん じ あ と ほ ぞ ん せ い び 史跡武蔵国分寺跡の保存整備

## 保存整備への道のり

昭和 31・33 年の調査で、武蔵国分寺が全国でも最大規模を有することが明らかになってきたころ、<sup>こくぶん</sup>国分寺の遺跡地で起こった問題は、遺跡の保存運動のきっかけとなりました。この問題は、昭和 38 年（1963）後半から、指定史跡地内の<sup>に じ い せ き ち</sup>尼寺跡推定地に無許可で分譲住宅が立ち並び、<sup>こんどう きん だん</sup>尼寺の金堂基壇が削り取られてしまったことに端を発します。削られてしまった遺構は二度と元には戻らないので、状況は深刻なものでした。国分寺町（市）は、石田茂作を顧問とし、<sup>たきぐちひろし</sup>滝口宏（早稲田大学教授）を中心に<sup>く ぼ つ ね はる</sup>久保常晴（立正大学教授）、<sup>ないとうまさつね</sup>内藤政恒（東京薬科大学教授）による調査団を組織し、昭和 39 年（1964）3 月から緊急的な<sup>に ぼ う</sup>尼坊の発掘調査を行うことでこの問題に対応しました。調査はその後、<sup>そう じ</sup>国分僧寺も含めて断続的に昭和 46 年（1971）まで実施されました。

これによって、武蔵国分寺跡の全体像が見えはじめたのもつかの間、昭和 48 年（1973）には市立第四中学校の建設問題が起こります。当時の学校建設予定地周辺は、雑木林や畑でしたが、僧寺跡に近いこともあって遺構が残っている可能性が高かったのです。これに対しては、大きな保存運動が起こり、「文化財の保護」という考えが広まるようになりました。建設前の少ない時間ではありましたが、発掘調査が行われ、武蔵国分寺に関連する<sup>ほつたてばしらたてものあと</sup>掘立柱建物跡や<sup>たてあなたてものあと</sup>竪穴建物跡が発見され、<sup>か じ こう ぼう ち</sup>鍛冶工房跡もあることから、寺を<sup>えい げん</sup>営繕する施設（<sup>す り い ん</sup>修理院）と考えられました。東京都指定文化財の「武蔵国分寺跡出土の<sup>りょくゆう か もんざら</sup>緑釉花文皿」はこの竪穴住居跡群のひとつから見つかっています。そして昭和 49 年（1974）、武蔵国分寺跡の保存基本方針が定まり、「武蔵国分寺遺跡調査会」（のちに国分寺市遺跡調査会）が発足し、寺域の確認を目的とした調査が開始されました。



<sup>りょくゆう か もんざら</sup>武蔵国分寺跡出土の緑釉花文皿〈東京都指定有形文化財〉

口径 15.7cm、器高 2.65cm の高台付きの小型皿で、全体にうぐいす色<sup>うぐいすいろ</sup>の釉<sup>うわすずり</sup>がかけられています。中央には大日如来<sup>だい に ち に よ ら い</sup>の種子「ヴァン」が梵字<sup>ぼん じ</sup>で表され、周囲には、花の文様が描かれています。10 世紀中頃に現在の愛知県瀬戸市付近で生産されたもので、武蔵国分寺での仏教儀礼に使用されたものと考えられます。



住所：国分寺市西元町 3-10-7  
(市立第四中学校体育館内)



国分寺市文化財資料展示室

市では、やむを得ずとはいえ貴重な寺域内に学校を建てたことを踏まえ、昭和 54 年（1979）、第四中学校の体育館内に「文化財資料展示室」を開設しました。展示室では第四中学校内から出土した土器・瓦・鉄製品を中心に展示しています。また、国分尼寺跡を紹介する映像の放映や、<sup>すみだしやういち</sup>住田正一古瓦コレクションのうち、東海道・東山道諸国の瓦を展示しています。

# 史跡保存整備の概要

| 年号<br>(西暦)              | 調査                                                                              | 保存管理                                                                                   | 公有地化         |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 明治36年<br>(1903)         | 重田定一、柴田常恵による実踏調査                                                                |                                                                                        |              |
| 大正11年<br>(1922)         | 東京府嘱託稲村坦元らによる寺跡全般の調査                                                            | ・ 10月12日「史蹟名勝天然紀念物保存法」により国の史跡指定を受ける                                                    |              |
| 昭和31・33年<br>(1956・1958) | 石田茂作を委員長とする「日本考古学協会仏教遺跡調査特別委員会」による調査                                            |                                                                                        |              |
| 昭和39～44年<br>(1964～69)   | 国分寺町（市）の組織した調査団による遺跡保護・保全のための確認調査（尼寺跡・僧寺跡・区画構造等）<br>(昭和39・40・41・44年(全5次 計129日)) |                                                                                        |              |
| 昭和40年～<br>(1965～)       |                                                                                 |                                                                                        | 公有地化<br>事業開始 |
| 昭和46～49年<br>(1971～74)   |                                                                                 | ・ 環境整備第1期工事として僧寺中枢部を対象に工事実施                                                            |              |
| 昭和49～60年<br>(1974～85)   | 国分寺市教育委員会による第1期寺域確認調査                                                           |                                                                                        | 尼寺地区<br>買収完了 |
| 昭和51年<br>(1976)         |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（東僧坊）                                                                          |              |
| 昭和54年<br>(1979)         |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（尼寺南東部）                                                                        |              |
| 昭和55年<br>(1980)         |                                                                                 | ・ 国分寺市史跡武蔵国分寺跡整備計画策定委員会設置                                                              |              |
| 昭和57年<br>(1982)         | 国分寺市教育委員会による第2期史跡整備に先行する確認調査                                                    | ・ 史跡追加指定（僧寺南門西側）                                                                       |              |
| 昭和61年～<br>(1986～)       |                                                                                 |                                                                                        |              |
| 平成元年<br>(1989)          |                                                                                 | ・ 国指定史跡保存管理計画 策定                                                                       |              |
| 平成2年<br>(1990)          |                                                                                 | ・ 史跡武蔵国分寺跡整備基本構想 策定                                                                    |              |
| 平成3年<br>(1991)          |                                                                                 | ・ 史跡武蔵国分寺跡整備基本計画 策定                                                                    |              |
| 平成5年<br>(1993)          |                                                                                 | ・ (仮称) 郷土博物館基本構想 策定                                                                    |              |
| 平成4～7年<br>(1992～95)     | 尼寺地区 事前遺構確認調査                                                                   |                                                                                        |              |
| 平成10年<br>(1998)         |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（僧寺中門西方）                                                                       |              |
| 平成9～14年<br>(1997～2002)  |                                                                                 | ・ 尼寺地区 整備実施設計・工事                                                                       |              |
| 平成14年<br>(2002)         |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（僧寺北東地域）                                                                       |              |
| 平成15年<br>(2003)         | 僧寺地区 事前遺構確認調査（中枢・塔・南門地区等）                                                       | ・ 僧寺地区 整備基本計画見直し 策定<br>・ 市立歴史公園 武蔵国分尼寺跡開園<br>・ 市立歴史公園 都史跡東山道武蔵路開園                      |              |
| 平成17年<br>(2005)         |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（僧寺南門西側・参道口）<br>・ 史跡追加指定（僧寺伽藍西方）                                               |              |
| 平成18年<br>(2006)         |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（国分寺崖線下地域）                                                                     |              |
| 平成19年<br>(2007)         |                                                                                 | ・ 史跡武蔵国分寺跡周辺地区まちづくり計画決定                                                                |              |
| 平成20年<br>(2008)         |                                                                                 | ・ 市立歴史公園史跡武蔵国分寺跡（僧寺北東地域）開園                                                             |              |
| 平成21年<br>(2009)         |                                                                                 | ・ 史跡武蔵国分寺跡（僧寺地区）整備実施計画 策定<br>・ 市立歴史公園史跡武蔵国分寺跡（国分寺崖線下地域）開園<br>【おたかの道湧水園、武蔵国分寺跡資料館、史跡の駅】 |              |
| 平成22年<br>(2010)         |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（東山道武蔵路跡）                                                                      |              |
| 平成23年<br>(2011)         |                                                                                 | ・ 市立歴史公園史跡東山道武蔵路（武蔵国分寺跡北方地区）開園<br>・ 僧寺地区 第一期整備(中枢地区)基本設計・工事着手                          |              |
| 平成24年<br>(2012)         |                                                                                 | ・ 国指定史跡武蔵国分寺跡 附東山道武蔵路跡保存管理計画（第2次）策定                                                    |              |
| 平成29年<br>(2017)         |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（東山道武蔵路跡 他）                                                                    |              |
| 平成31年・令和元年<br>(2019)    |                                                                                 | ・ 市立歴史公園史跡武蔵国分寺跡（僧寺中枢地域）開園                                                             |              |
| 令和2年<br>(2020)          | 僧寺地区 事前遺構確認調査（北方・推定中院地区）                                                        | ・ 僧寺地区 第一期整備(中枢部周辺地区)基本設計<br>・ 僧寺地区 第一期整備(中枢地区)工事竣工                                    |              |
| 令和3～6年<br>(2021～2024)   |                                                                                 | ・ 史跡追加指定（僧寺中枢部区画東辺 他）<br>・ 僧寺地区 第一期整備(中枢部周辺地区)（南門地区）工事着手                               |              |